

2023.03.05. 裁きが来る

第二ペテロ 3章5節から7節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。主よ。もう受け身のクリスチャンでいる時間は本当にありません。しかし、今起きていること、あなたの御言葉が語られることが、これから起こるのです。こんにち、より現実となっています。主よ、受け身ではなく、私たちを変えてください。主よ、あなたの御言葉のために起き上がるためあなたの御言葉が私たちの中で生き、息付き私たちを強めてくださいますように。主よ、真理は御言葉にあります。ですから主よ、今朝、私たちが集中できますように。あなたの聖霊によって私たちの思いと心を何より静めて下さり、私たちの全注意を引いて下さいますように。私たちはそうしたいのです。今朝、あなたに耳を傾ける事がとても大切です。ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。来てくださりとても嬉しいです。ようこそ。オンラインでご参加の方も歓迎します。ご参加くださりとても嬉しいです。始める前に、さっとお知らせしたいことがあります。今週火曜日、午後7時、ここ礼拝堂で祈り会があります。是非いらっしゃって、一緒に祈ってくださいますように。それが今週の火曜日、7日です。それでは「第二ペテロの手紙3章」、今日の箇所は5節から7節までです。これからも、節ごとの学びを続けていきたいと思えます。「第二ペテロの手紙」の最終章です。よろしければ、言わばじっくり味わっていきます(今は)かなり良かったでしょ? 既に立って下さってる方もおられますね。では可能な方は、ご起立ください。そうして、私が読むのについて来てください。味わいながら。ご無理な方は、座ったままでも結構です。私が読むのについてきてください。5節から、ペテロは続けます。彼は、主の来臨に関して、この嘲る者、嘲笑する者の文脈の中で彼らについてこう言っています。5節、

— II ペテロ 3:5 —

(しかし) こう主張する彼らは、次のことを見落としています。天は大昔からあり、地は神のことばによって、水から出て、水を通して (によって) 成ったのであり、

— II ペテロ 3:6 —

そのみことばのゆえに、当時の世界は水におおわれて滅びました。

— II ペテロ 3:7 —

今ある天と地は、同じみことばによって火で焼かれるために取っておかれ、不敬虔な者たちのさばきと滅びの日まで保たれているのです。

祈りましょう。— (笑) — イェ〜イ。

主よ、あなたの御言葉をありがとうございます。今日、私たちの前にあるような箇所は、あなたの御言葉で厳しい内容です。主よ、あなたが私たちにご用意されている物を受け入れたいです。聖霊によって、私たちの人生に語ってください。私たちがしたくないことは、私たちが取り組む内容や課題がために、私たちは、良くしがちなように、この箇所から自分自身を切り離したり、断ち切ったりしたくありません。主よ、どうか私たちを逃がさないでください。主よ、厳しいかもしれませんが、これを聞く必要があります。主よ、それはあなたの御言葉であり、あなたの御言葉のすべての御言葉は、理由があって御言葉にあります。時に、啓発や叱咤激励のためです。しかし、多くの場合、私たちへの指導や叱責、警告でもあります。ですから、主よ、そうありますように。もし、それが今日私たちに必要なことなら、主よ、お語りくださ

い。あなたのしもべたちが聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。
ご着席ください。ありがとうございます。では、今日は、大人気のトピックについて話したいと思います。
誰もが話したい、聞きたい事、「裁きが来る」そう皆さん、節ごとの学びでは、必ずあります。
私が聖書を一節一節教えず、話題の事しか教えないなら、断言できるのが、私はこの箇所を教えないでし
ょう。とても正直に率直に言っているのですよ。つまり、誰が裁きの話をしたいです？「神の裁き」
いいえ、それより、神の愛についてを話したいです。聖霊によって、使徒ペテロが裁きの日が来ること
が、「どうやって」「なぜ」私たちに分かるのか 的を絞ります。それは事実です。それは真理です。私が
話したいことは、よろしければ、「裁きの日は、間違いなく来る」事を証明する3つの事実にご皆さんに注
目して頂きたいと思います。要点は、私たちの誰もが想像もつかないほど早くやってくるかもしれませ
ん。では、なぜこれが重要なのか？ またそれと共に、「なぜこのことが聖書に書かれているのか？」
という疑問を持つでしょう。その理由は、人々が健全な教義に耐えられない、もしくは、受け入れられな
い時が来ます。それが今だと思えます。これが健全な教義です。これが聖書真理です。多くの人々が、終
わりの時、今もなお、その真理から目を背けています。彼らは、偽りの作り話に目を向けています。
たとえば、こんにちの多くの説教者は、「裁きが来る」というタイトルの説教をしません。それより、こ
んにちの多くの説教者は、「リバイバルが来る」というタイトルの説教をします。自分自身に正直になり
ましょう。私が、皆さんの犠牲となって、自分のことを話します。それは私が聞きたいです。いや、本当
です。むしろ説教者が、こう説教する教会に行きたいです。「リバイバルが来る！」

「この先の教会、ウィンドワード側の教会は（今皆さんがいる教会です。）牧師が”リバイバルが来る”で
はなく、”裁きが来る”という説教をしてるよ。」「あ～大丈夫だよ。私は大丈夫だから。」あなたは大丈夫
じゃありません。なぜなら（裁きが）来るからです。心に留めてほしいのは、ここで、使徒ペテロのこ
とを思い出しながら、もう一度、裏話をしたいと思えます。これは、彼の最後の言葉、別れの言葉です。
なぜそれを強調するのか？ なぜなら、ここ（地上）で最後の息をし、永遠で最初の息をするのが、も
う時間の問題であると知っていたら、言い残したい多くの言葉の中で、あなたは何を言い残しますか？
現実です。時間がありません。それがペテロの話す言葉です。これが、ペテロが聖霊によって促された
別れの言葉、言わば遺言で、彼はこれを語っているのです。私はこんな話はしたくないです。死に際で、
時間が残り少なく、

「待ってください、JD 牧師、最後に別れの言葉をお願いします。」と言われたら、

「神はあなたを愛しておられます。リバイバルはまだ来ませんが、神はあなたを愛しておられます。」
でも私は言いません。「裁きが来る！神の怒りが来る！」とは。私はそんなことはしたくありません。私
なら語りたいのは、素敵なおこと、愛おしいこと、もっと和やかで、受け入れられ、聞こえの良い、全部た
わ言。でも、これは違います。つまり、誰がこの話をしたいです？ ましてや、聞きたいです？ 使徒ペ
テロは、これから来ることに真正面からぶつかります。今から見ていくのは、非常に興味深い方法で、
「聖霊に促されたペテロがどのように話し進めるのか。」「裁きが来る」その理由は、

1つ目： 神が地を創造された。

5節です。ここでペテロは、前述の嘲る者たちについて、再び言います。「彼らは意図的に忘れてい
ると。ここでペテロは、前述の嘲る者たちについて、再び言います。「彼らは意図的に忘れてい
ると。ちょっと覚えておいてください。「地は神のこぼれによって、水から出て、水を通して成った。」さて、こ
こで問題は、私は決して意図的に忘れることはありません。簡単に自然に忘れます。どうもありがとう。

意図的ではありません。ですから、ちょっと、この言葉と翻訳は、理解に苦しみますね。ですから、原語を見るとわかるのは、この「意図的に忘れている」は、(聞いて下さい)「気づかれないよう逃げる」という意味を伴います。人目に触れずに逃げる。創造物や創造主の存在を意図的に人に知られないよう避ける。それが意図的のです。言い換えれば、これがペテロの要点です。彼らはこれを、人目に触れずに済ませたく、神のご創造について逃れられるなら、神の裁きもまた逃れられるからです。今、私が言ったことが、わかりますか？ ここで、先ほどペテロが語ったように、あなたは自分の悪い欲望に従って、この罪深い生活を続けたいと思っています。しかし、創造主なる全能の神が来られ、地を裁かれるなら、あなたは問題を抱えます。

「じゃあ、私たちどうにかしないとね。この創造主を排除しなきゃね。戻って来られる神を排除しなきゃね。神が戻られるという約束はどこにあるんだ？」と嘲笑する。その理由は、創造主なる神を排除し、避けることができれば、裁かれる神も排除できます。ペテロは彼らを逃がしません。彼らは、創造主の創造物から意図的に逃げようとするので、来たるべき創造主からの裁きから逃れようとしているのです。彼らは、望むなら試せます。しかし問題は、創造物全体が創造主を叫び求めていることです。それが、正に6節です。私たちの2つ目の証明で、あなたが好きかどうかに関わらず、好きなだけ戦ってください。思う存分、試してください。「神は来られ、裁かれる」神は以前もなさいました。これはまたありがたいことにペテロが聖霊に促され、もちろん神は、初めから終わりをご存知なので、ペテロはまるで議論の先取りです。創造主やひいては創造物を排除しようとするこの試みに先立ち、創造物は、ペテロが言うには、神は地を創造されただけでなく、地を滅ぼされました。つまり、神には青写真があらわれます。あなたが、神がなされた実績をみれば、神は一度なさいました。神は、昨日も今日も、永遠に同じ神です。神は再度それをなさいます。ただ今回は、水によってではありません。火によってなさいます。それが実現します。滅ぼされます。そう、神が地を創造された手段は、神が地を滅ぼされる手段でもありました。

「水」神は水を創造されました。神は地を創造されました。神は、天と地と海を創造され、その中のすべてのものを創造されました。地上に、人間の邪悪さがあまりにも絶え間なくずっと常に邪悪だった時代がありました。余計なことに聞こえるでしょうが、神は世を裁かねばなられませんでした。そして、世を滅ぼされました。では、ペテロの言いたいことは何か？ ペテロは、彼らに思い出させています。

俗にいう、“意図的に忘れているようだ。” “気づかれないよう逃げている。” 来たる裁きから逃れたいがために、あなたは逃げているのです。では、私が思い出させましょう。あなたが避けたものを取り戻し、再びあなたの目の前に置きましょう。神は地を創造されました。神は地を滅ぼされました。ここでもまた、ペテロが指摘することは、彼らは何とか試みても、事実から逃れられないということです。なぜなら、神が地を創造され、かつて一度地を滅ぼされた事実があり、神はまたそうされるからです。だから彼らは嘲笑するのです。「約束はどこにあるのか？」キーワード：主の来臨の

もしあなたが主の来臨に疑念を持ち出せば、主の来たるべき裁きにも疑念を持ち出せます。「神が約束通りには戻られず、裁きも来ないのなら、私は大丈夫！ 自分の好きなように生きられる。邪悪な欲望に従い、罪深い人生を生き、裁きの日に申し開きする必要はない。」

しかし、神は裁かねばなられません。神は義だからです。「まあ、そうですが、神は愛ですからね。」もし神が愛なら、神は義です。神に愛があらわれるのではなく、神は愛です。その区別をしてください。なぜなら、もし神が義でないなら、神は愛ではあり得ません。ここが私の話の向かう先です。よろしければ、法廷の場面を使いましょう。裁判官、不当な裁判官がいます。彼は愛のある人で、彼は.....みんなと仲良く

できます。犯罪を犯した加害者が入って来ます。有罪です。そして、被害者はこちらにいます。この裁判官はどうするのか。公正な裁きをするでしょうか。裁判官は言います。「今日は、なんだか良い気分、髪も決まってるし。(どうでもいいですが) 私は.....あなたにチャンスあげよう。私はただ.....今、愛を感じています。」

それは愛ではありません。こちらには被害者がいます。彼らはどうなるのか？ それは愛がないだけでなく、不当です。愛がないのと同様に不義です。義（公正）であることと、愛であることとのつながりが分かりますか？ 神は裁かねばなられません。このことについて、後で戻ります。7節に入る前に、「神はもう一度なさる」というこの事実、皆さんにこのことを「神はなさらねばならない」という属性、骨組みで見てほしいのです。皆さんにこのことを「神はなさらねばならない」という属性、骨組みで見てほしいのです。皆さんにこのことを「神はなさらねばならない」という属性、骨組みで見てほしいのです。これが正しい英語でないことは分かっていますが、神は、しない、がお出来になりません。神がどういうお方で、どのような神であられるかに矛盾します。神は、ご自分に従うことやご自分を愛すよう人に強制なさいません。でも人は、神の裁きの重い御手を神に強制することができます。ほとんどこんな感じです。あなたは、ある意味、神に選択の余地を与えない。誰もが滅びることは神の御心ではあられません。悪を裁くことや罰することを喜ばれません。神はそれを喜ばれません。地獄は、人間のために造られたのではなく、悪魔とその悪霊のために造られました。これは本当に間違いなので、指摘したほうが良いと思います。神は、誰も地獄に送られません。実際、イエスは仰います。「わたしの死んで復活した体を越えてから、地獄に行きなさい。わたしは、すべてをし、手段を選びませんでした。あなたが滅びないように。あなたがわたしを信じさえすれば、永遠の命を手に入れられます。誰も滅びてほしくないからです。」滅びは神の御心ではありません。ペテロは、この章の終わりに向けて、そのことを持ち出しますよ。ですから、神はなさらねばならないのです。そうなさるしかないのです。神の御手が強いられるから。

「ローマ人への手紙1章」は、非常にとても難しい章だと思います。私はその教えを決して忘れません。「ローマ人への手紙」を通して、節ごとに教え学んだ時のあの章、1章の学びで、ずっと涙を流していたと思います。胸が張り裂けそうで、神は基本的にこう仰っているからです。「分かりました。あなたは選択したのですね。わたしは、あなたがすでに心を頑なにし、自分の運命を決め、決心したことに、あなたを明け渡します。わたしはそうしたくありませんが、そうするしかありません。」わたしは見ても振りではありません。女が女に、男が男に欲情しているからです。わたしは試み、できる限りのことはしました。」

エレミヤの話をして。「40年以上、わたしはあなた方に、預言者、代理人、説教者、牧師、兄弟姉妹を送りました。あなた方に警告するために。わたしはあなた方に、裁きを受けてほしくないからです。わたしはあなた方を愛しています。このことであなたを惜しみます。」つまり、神は創造主であられ、滅ぼされる神でもあられます。しかし、今回は水によってではなく、火によってです。今回は、地だけではありません。天と地で行われます。なぜか？ 新天新地になるからです。なぜか？ 罪が天に入ったからです。実は、最初の罪は地上ではなく、園（エデンの園）、天でした。ルシファーが、自分の高慢さで自分を高く上げました。

「私は天に上ろう。私ははるか上に私の王座を上げよう。」（イザヤ 14:13 参照）
私は、私は、私は、私は、... “I” の問題です。「私/I」が問題なのです。「I」という文字は、“Sin”(罪)のど真ん中にあります。同様に、“Pride (高ぶり)”のど真ん中にあります。もうあと1つ取り上げてみ

ましよう。もっとあるかもしれませんが、「I」は、”Lucifer (ルシファー) の名のど真ん中にあります。

「I」(私)それが最初の罪でした。ですから、新しい天と新しい地になります。では再度、「なぜ」の質問に話を戻しましょう。なぜ、神は聖霊によってペテロにこれを書かせるレベルにまで上げられたのか？再度、もし私が選択できたなら、しなかったし、そうしないでしょうけど、私は、このことを話したり、自分が書く最後の手紙に選ばなかったでしょう。いいですか？ 「第二 J.D.の手紙」は、全く違います。そういうことにしておきます。ですから、なぜか？

答え：なぜなら、患難前携挙での主の来臨とその後続く7年間の患難時代の裁きを嘲笑しバカにする者は、言いますよ。自己欺瞞です。自己欺瞞の意味を知っていますか？ またしても意味深です。私は夜も寝ずに、このような意味深な真理を考えます。自己欺瞞とは、自分自身を欺くという意味です。意味深いですね。自己欺瞞とは自分を騙します。言い換えれば、私は欺くことがとても上手で、自分の欺瞞の中で自分をも欺いてきました。諺にもあるように、「あまりに嘘をつき過ぎて、自分の嘘を信じ込む。」そこがポイントですよ。神経学的に、生理学的に、心理学的に、あなたは自分の嘘を実際に信じるまで、嘘をつけます。それを自己欺瞞と言います。あなたは、自分自身を欺くことに成功しました。ええでも、助けはありました。でもまだ法廷にいるのですから、動機の話をする必要があります。動機は何だったのか？ 動機は、主に戻って欲しくありません。裁きが来て欲しくありません。神が創造主であって欲しくありません。神が創造主であられるなら、神は滅ぼすこともなさるからです。私は、神に裁かれたくありません。なぜなら、裁かれたくないからです。ですから、そのことから自分で自分を捻じ曲げ、自分で自分に言い聞かせます。先週の木曜日、「哀歌2章」を学びました。木曜日の夜に来られている方、「哀歌」に少し驚かれたでしょうか。それが既に私の質問に答えています。

「哀歌」は、追弔、哀悼、弔歌で、エレミヤが、聖霊に促され、民の死を悼みながら書きました。それが「哀歌」の内容です5章あります。神様、5章だけなのを感謝します。5章です。5つの弔歌、5つの歌です。詩です。本当に。ヘブライ語のアルファベット22文字を使って、詩的に折句で書かれています。木曜日の夜の2章は、ゾツとしました。はい、ゾツとしました。ほとんど控えめな表現ですよ。なぜゾツとしたかという、バビロン捕囚による、ユダへの裁きと滅びを描いた章でした。しかし、この章で何が印象的かわかりますか？ ユダに起こったすべてのことは、真の預言者エレミヤではなく、偽預言者たちに惑わされ信じたためです。なぜ？ なぜ彼らはそうなったのか？ 彼らは、自分たちがそうしたかったからです。「心地よいことだけ語り、預言してほしい。今、最高の人生を送る方法を私に話してほしい。私が良い人だと言ってほしい。神は、ありのままの私を愛してくださいと。He Gets Me/神は私を受け入れる。」

彼はあなたを、地獄から捕らえられるのです！！ 私は怒ってません。そう思いません。いえ、彼らはそれを望み、願っていました。事実、そうだったと語られています。(エレミア 5:31 参照)

彼らは預言者たちに、裁きを預言すると言い、嘘を語れと言います。一緒にエレミヤ書を学んだ方、全52章を学びましたね。なんてことでしょう。エレミヤだけでなく、その前のイザヤも同様、共通です。

「エレミアよ、我々はそれを聞きたくない。」実際、彼らはエレミアの命を奪う契約を結び、彼の命を脅かしました。「お前を、黙らせてやる。」「毎週、そんな聖書預言・アップデートはやめろ。お先真っ暗だ。」オッケー、これ以上はしません。ポイントは分かったでしょ？ それが、エレミヤが預言していたことだからです。

「裁きが来る。バビロン人がやってくる。あなたがたは捕虜にされます。」彼は荒野で孤独な声をあげま

した。こちらに他の偽預言者たち全員がいました。多数です。不足はありません。彼らは言いました。「あ～エレミヤに耳を傾けるな。彼らは来ない。そんなの起こらない。裁きではなくリバイバルが来る。」彼らはそのように言います。そして、エレミヤは、「私のメッセージは人気がないことは分かります。あなたがたが聞きたくないのは分かります。でも、これが真実です。」

彼らがしたのは、意識的な決断で、それがここでペテロが指摘している事です。彼らは意図的に、意識的にこの決断をしたのです。彼らは、偽預言者たちの人気あるメッセージを受け取り、信じる決断をしました。そして、神の真の預言者からの不人気なメッセージを拒絶しました。その場面を一緒に思い浮かべてください。ここにエレミアがいます。とても心が痛みます。彼が「涙の預言者」と呼ばれ親しまれているのには理由があります。「哀歌2章」で、基本的に「涙が止まらない」エレミアが言う箇所があります。彼はこれを目撃し、喪に服し、悲嘆に暮れているのです。彼を責めることはできません。彼を責めることはできません。40年以上に渡って、エレミアは彼らに、これから起こることを警告してきました。しかし、彼らは彼を受け入れず、殺そうとし、投獄し、打ちのめし、拒絶しました。14節に入ると 実際、彼は精神的に取り乱し、体調を崩します。基本的に吐いてしまいます。体調を崩すほど精神的に取り乱したことはありますか？ それがエレミヤに起きました。

「哀歌」の2章14節に入ります。ちょうど使徒ペテロが書いていることと非常に一致します。エレミヤは言います。「あなたの預言者たちはあなたについて、虚偽と欺瞞に満ちた幻を見た。彼らは、（聞いてください。）あなたの咎を暴いてあなたを元通りにしようとせず」（哀歌2：14 参照）訳すと、彼らはそれを覆い隠し、隠蔽してきた。咎については語らない。来週も来てほしいから。彼らはあなたに嫌われたくなく、きっと SNS 友達から外されたくもないので、彼らは、それを持ち出さない。彼らは罪について話しません。話すのは、「神は良いお方です。あなたも良い人、私たちみんな良い人。ごきげんよう。」そして、あなたはとても心地よく暖かい気持ちで教会を後にします。

「すばらしくなかった？」「そうね。じゃあみんなでハグしよう。」もし教会を出て、皆さんの問題ではありません。皆さんにはこの問題はありません。そんなことないと思います。皆さんがここから自分自身について気分良くなって帰るなら、私は失敗でした。皆さんがここから神について気分良くなって帰るなら、私は成功しました。同じことを別の方法で言った方がいいですか？ そう、聖書を通読すると、こんなことが書いてあります。聖書は鏡です。ありのままの私を見ます。自分はこうだと考えて自分を騙せません。こんなミームを見たことあるでしょ？「友達が考える私。親が考える私。上司が考える私。そして本当の私。」かなりの差異がありますね。私の言っていることわからないです？ うわ～ SNS をやっていないのですね。とても良いことです。聖書は鏡なんです。神がご覧になれる私を私に示されます。私の本当の姿。朝、鏡に映った自分を見るときのような感覚です。年をとるとあまりやりたくなくなります。「お～、イエスよ、早く来て下さい。」でも、本当の自分の姿を（聖書で）見ることができます。鏡はあなたを騙しません。壁にかけてある鏡どころじゃありません。そう、鏡が言います。「おまえだ！」そう、まさにそんな感じです。「あなたは髪を変える必要がある。あるべき箇所じゃないところに、毛が生えていて、以前はあったところにはない。剃りなさい。」とにかく、そんな説明でごめんなさい。ポイントは分かりますね？ 聖書は私に私を見せます。何を私に見せてくれるのか。

「私は罪びとです。」「私は罪びとです。」「私は罪びとです。」「私は罪びとです。」「私は罪びとです。」「私には救い主が必要です。」「私には救い主が必要です。」「私には救い主が必要です。」「私には救い主が必要です。」聖書を20秒くらいに要約してみました。律法をみても？ 十戒は、私たちが守るため

に与えられたものではないと言ったらどうでしょう？ ええ、律法は完璧です。十戒の全てがなすことは、私たちが掟を破ったことを示すためです。私たちが律法を破ったことを知れば、聖霊が家庭教師、指導者、教授として来て下さり、私たちの手をとって、救い主が、私の代わりに律法を成就され、私のために、私の身代わりに死なれた十字架まで導いて下さいます。しかし、人々からそれを奪ってしまえば、彼らには必要ありません。彼らを騙しています。それは欺瞞で、偽りです。彼らの咎を暴いていません。まるでエレミヤがこう言っているようです。「あなた方の偽預言者は今どこにいますか？（エレミア 37:19 参照）私が言っているのは、いつもあなたにこう言っていた人たちです。「エレミアの言う事は聞いてはいない。そんなことは起こらない。すべて大丈夫。」

ユダが捕囚されても、（ユダは3度包囲されましたけど）すぐに戻って来ますよ。心配いらぬ。大丈夫です。」叔父が捕虜になったんだ... 彼も取り戻すから。心配ない。

「叔父が捕虜になったんです。」「彼らは戻ってきます。心配いらぬ。」「でも、エレミヤは70年間（捕囚）だと言います。」「いやいや、エレミヤに耳を傾けないで。」なぜこのようなことが起こるのか？

なぜなら、神は私たちに律し、私たちに裁き、懲らしめておられるからです。そう、エレミヤは40数年間警告し、神の裁きの御手を強制することになるあなたがたの罪を暴いてきました。とりわけ、『哀歌』で驚かされるのは、このようなことは起こる必要はなく、避けられたかもしれないとあります。

エレミヤが基本的に言うのは、

「あなた方の偽預言者たちは今どこにいるのですか？」（エレ 37:19）

「そうそう、私は夢を見ました。神が私に見せられ、語られました。」と言っていた人たちです。

エレミヤはあちらで言います。「それは神ではない。」（エレミア 14:14 参照）

神の御言葉との整合性がありません。そうではなく、神はすでにあなたがたに御言葉と警告を与えています。あなたはこんな夢を見て、その夢についてのユーチューブ動画を作りユーチューブチャンネルに登録するよう人々をお願いしています。「神が動かれる〜〜〜」ー(笑)ー

あ、どうでしたか。上手すぎましたね、私。賜物です。ー(笑)ー

「おお〜〜私たちはこの国を取り戻すぞ〜〜」「私たちは、タイタニック号を再び浮かばせる！！」

それは偽りです。間違いなのは、どのようにタイタニックが沈んでいくかの預言、本物の預言が聖書にたくさんあるからです。あなたが救われたいなら、あなたにはイエスが必要です。イエスは来られるからです。あなたが嘲笑してバカにするのは知ってますよ。しかし、彼らは捕虜を連れ戻すために、あなたの咎を暴かず、聞いてください。「あなたについて、むなしい宣告（偽りの預言）と、惑わすことばの”幻”を見た。」（哀歌 2:14）

これは「第二テサロニケ人への手紙2章」で、聖書預言・アップデートで話した「強力な惑わす力」です。なぜか？ なぜ彼らは嘘を信じるのか？「彼らが真理を拒んだからです。」それを理解しないと、神の義を誤解することになります。神が真理を与えられたのに、彼らは意図的に真理を拒み、その結果、嘘を信じています。すると、神は、「分かりました。」神は、彼らをこの強力な惑わす力に明け渡されます。彼らの心はすでに頑なになって、うなじは硬くなり、心は決まり、自分の運命を封印したからです。ですから、彼らは惑わしを信じたいのです。彼らは偽預言を信じたいのです。彼らは欺瞞を信じたいのです。彼らは、嘘を信じたいのです。彼らは真理を拒絶しているから。なぜ彼らは真理を拒絶したのか？ 真理を聞きたくないからです。真理とは何ですか？「イエスが来られる。裁きが来る。」それが真理です。

真理のすべて、真理以外の何ものでもありません。どうか、神よ助けてください。「私は、それは嫌です。」

そうですか。「あなたは拒否するのですね。」はい。考えてほしいのが、あなたが聞きたいことではないから、聞く必要がないという意味にはなりません。事実、あなたが聞きたくない理由は、本当に聞く必要がある事の可能性がかなり高いです。神が天でこう仰っているのではありません。「わたしは神であり、わたしがそう言うのだから、わたしの警告に耳を傾けなさい。」違います。こんな感じです。

「わたしはあなたをととても愛しています。わたしは、あなたがこの道を行くのをここで見ているのに耐えられません。人には正しくみえる道ですが、破滅につながる道です。それは広い門です。多くの人がそこに行き、少なくとも滅びます。あなたがそんなことにならないよう、わたしは警告しています。わたしはあなたを愛しています。」

十戒の話に戻りますが、ある人が適切にこう呼びました。

Ten Commandments = 十戒

Tender Commandments = 優しい戒め

慈愛に満ちた優しい天の御父からの。こう仰っています。「わたし以外に他の神々があってははいけません。彼らはあなたのため何もしません。全く神ではないからです。」

旧約聖書のすべてを通して、病的な面白さで、私には病的ユーモアの感覚があるので、何にでもユーモアを見出せますけど、あなたが神の世話をするなら問題ですよ。いやいや、そう、ペリシテ人が契約の箱を手に入れ、半人半魚の神ダゴンの神殿に置いたときのことを覚えています？ 契約の箱ですよ。誰が良い考えだと思ったのでしょうか。彼らはそれをそこに置いて、朝入ってみると、契約の箱の前に、ダゴン神が壊れて、顔を伏して倒れています。神の御前、ご臨在への完璧な姿勢です。彼らはどうするかというと、「うわ～困った。誰にも見られないように。」彼らは、彼らの神を拾い上げ、接着剤で元に戻します。皆さん、問題ですよ。自分の神を接着剤で元に戻すなんて。私の神は、私を元に戻してください。私は自分の神の面倒を見る必要はなく、神が私の面倒を見てくださいます。

で、ここで神は、私のポイントに戻ります。信じられないかもしれませんが 実はポイントがあります。

「あなたはわたしのほかに、なにもものをも神としてはならない。」(出エジプト 20:3)

なぜなら、あれらは神ではないからです。「彼らはあなたのためにいるのではなく、あなたのために何もしてくれません。必要な時にあなたのそばにいません。わたしはいます。それらに膝を屈めて拝んではなりません。」

ここで、2回目の早送りです。

「あなたは姦淫してはならない。」(出エジプト 20:14)

あなたの人生を荒廃させ、もう二度と元には戻れないからです。

「あなたは殺してはならない。」(出エジプト 20:13)

殺人とは違います。区別してください。「あなたは殺してはならない。一生悩まされ、付きまとう。」

「(隣人の家を) 欲してはならない」(出エジプト 20:17)

特に大きな意味があります。ここでは非常に緩い言い換えをします。お付き合いください。

「(隣人の家を) 欲してはならない。」あなたがそうするとあなたのランチもディナーも食べられてしまいます。あなたは、内側から貪られます。貪欲と嫉妬という苦い根がそれを根付かせ、芽が出れば、あなたを貪り、あなたを滅ぼします。わたしはあなたに言います。それをしてはいけません。わたしはあなたを愛しているから、あなたがそれをすれば、あなたに起こる事を見るに耐えられません。あなたの人生を滅ぼします。愛しているからこそ、あなたにしてほしくないことを警告します。それをしたら必ず生じる

結果に苦しんでほしくないからです。」私は、社会に出てから自分が学んだことを修正しました。こういう諺があります。「低価格という甘さの後に、品質の悪さの苦味が長く残る。」(安物買いの銭失い)ですから私は修正しました。聖なる方法で、実際に聖なる方法です。罪の苦味の結果は、罪の一瞬の快樂の甘さよりずっと長く残る。これこそ、神が私たちを免れさせられたいことです。これが、ペテロが彼らを励ましたいことで、皆さん覚えておかねばならないのは、聖霊の導きで、使徒ペテロが、手紙を書いているクリスチャンたちは、コロシウムに放り込まれ、猛獣に生きたまま食べられるのです。カエサル・ネロの時代で、クリスチャンたちをタールに浸し、火をつけ、生きたまま焼き、同性愛者と女装して馬車で走り回りながら彼らを嘲笑いました。彼らを嘲笑して言いました。「そうそう！お前たちは世の光だ！！」クリスチャンに火をつけ、生きたまま焼きました。ペテロが、これを宛てて書いている人々です。私はこれを言うために言います。クリスチャンたちは、本当に神が彼らを裁かれるんだと聞く必要があったと思いませんか？ 神は彼らを裁かれます。このことが彼らを落ち着かせ私たちも落ち着くはずです。なぜなら、あまり変わっていません。罪を守るため名前が変えられていますが、昔と同じです。今、私たちがいるこの世と。皆さん同意しますか？ 言葉を失いました。それって奇跡です。今皆さん、超自然的な奇跡を目撃しました。私が、言葉を失いました。こんにち、私たちが生きている世と。皆さん、この話はしたことがありますから、長々と話すつもりはないのですが、ちょっとだけお許しください。牧師にとって、こんにち、この世界で、最も難しいことの一つは、一人で立ち上がってこう話している群衆に反対する事です。「大丈夫。すべてがうまくいく。あと30年、40年、50年あるだろうね。だからリラックスして、みんな落ち着いて。何も起こらないって。」しかし、神の御言葉のすべてがそれに反しています。偽りであるとして。そのプレッシャーの大きさ。これは弁解するためではなく、説明するための理由です。多くの牧師は、屈して黙従します。群衆に反対するのは、押しつぶされそうなプレッシャーです。エレミヤのようにたった一人で、たった一人で立ち上がって言う。「違う。それは偽りです。」願わくは、牧師についてではなく、私たちクリスチャンが、靈的な背骨を正し、聖なる大胆さを持って立ち上がり、こう言えますように。「それは偽りです。惑わされないでください。」それは嘘です。なぜそれが嘘なのかを言います。もしそれが本当なら、私たちはどうなるのですか？「ねえ、心配いらないよ。もう聖書預言・アップデートは必要ないよ。」それだけでも、なんと毎週のどつともないプレッシャーから解放されるのでしょうか。私は、神の御言葉を教えている時より、幸せなことはありません。告白します。私を違って見ないでほしいのですが、私は何より、旧約聖書を教えるのが楽しいんです。聖書預言・アップデートよりも。とりわけ今は。毎週、1000回死んでます。いいえ、真剣に言っています。こういう話はしたくありません。これは人気ないですし、とても心地悪いです。

「よろしい。神は苦しむ者を慰められますが、心地よい者を苦しめられます。」ダビデが「詩篇 119」で語りました。苦しみにあったことは私にとって幸せでした。私は迷い出ていましたが、でも今はあなたの御言葉を心に留めます。(詩篇 119:67/71 参照)

苦しみにあうのは良い事です。「主よ、ありがとうございます。私の家ではない、この世、ここで快適になりすぎるときに、私を苦しめてくださいました。私はこの世にとっくに長居しています。」それが、嘘の裏にある理由ですよ。そう、嘘は嘘のまんまです。

「アメリカを再び偉大にできれば、へーい、しばらくこのままでいい〜。今すぐ、不動産に投資しよう。この地上に宝を積んでおこう。虫やさびで傷物になって、盗人が壁に穴を開けて盗む場所だけ。(マタイ 6:20 参照) しばらくここにいるからね。」

そして逆に、ひっくり返してみましよう。もし、私たちがそうでないなら、アメリカがそうでないなら、こういうのは、勘弁してください。「あなたには愛国心がありません！ この国に生まれてないからでしょう。」それはやめてください。それは勘弁してください。その話に行くじゃなかった。愛を持って言います。愛を持って言います。私はこの国が大好きです。間違っって伝わらないことを祈ります。でも、実はこの国が何より大好きです。1963年、両親は私が生後9ヶ月のときに、”合法的に”この国に移住しました。中東のイスラム教から逃れてきました。もし、そうしなかったら、

A：私は生きていたかどうか、B：救われていたかどうかわかりません。

私はこの国を何よりも愛しています。それがその事を話した理由です。なので、勘弁してよ！ 意地悪にしてみました。イエスの御名において。－(笑)－ 皆さん、このことが分かりますか？ これをひっくり返すと、「我々は物事を再び良くしよう、再び偉大にしよう。」なら、ねえ、私は、しばらくは、ここにいることになるから、身を潜めた方がいいかもしれない。落ち着いて。」違います！！

私の聖書には、私たちは上に行くと言われています。身を潜めるですって？ 違います！ 想像してください。携挙が起こる時、私が身を潜めていて、「さあ、あ、彼は、、掴めない。身を潜めすぎて携挙できないです。」そんなことは起こりません(冗談です)－(笑)－

説教が終わった時点で、止めておけばよかったですね。－(笑)－

しかし、私たちはこの世やこの世のものに強くしがみついています。どうりで、本当に心から信じています。主は私の心を知っておられます。真理を知らしめれば、人々はまだ天国に行きたくないだと思います。”まだ” ええ、人々は、行きたいとは思っているようですが急ぎたくない。

私たちはこうです。「主よ、早く来てください」

彼らはこうです。「主よ、_____」(会衆：ゆっくり来てください)兄弟のチャーリーが今言った通りです。彼らは「急ぐことはない。心配いらない。」私はここに投資をして、宝があって、根を深く張っていて、定着している。私の心はここにあります。ここに私の宝があるからです。」

だから心配ない。心配ない。「マタイの福音書 24 章」のゾツとするあの例え話を思います。これで締めくくります。きつとね。ゾツとします。理由は、イエスは、悪いしもべと良いしもべを比較対照しておられ、悪いしもべは宴会をしていて、「なあ、主人の帰りは遅くなるって。急がず、心配せず。」

対照的に、良いしもべは、「私があなただったら、そんなことはしません。主はいつでも戻ってこられるからです。」そのしもべは、主人がいつでも来られると信じていたので、主人が命じたことを忠実にしているところを見つけられました。

「よくやった。良い忠実なしもべよ。」(マタイ 25:21)

私の主人がいつでも戻ってこられる期待や楽しみを持って自分の人生を生きると、自分の人生を生きる方法が一変します。逆に、あと20年、30年もあると思ったら、その頃には私は死んでいますよ。ああ、それって憂鬱な考えですね。いや私は、携挙で上に上がるのに。。ちょっと時間をください。ちょっとだけ。－(笑)－ 30年？ ハア～ はい、箴言によれば、

「望みを得ることが長びくときは、心を悩ます。」(箴言 13:12)

私の希望を奪わないでください。それが私の祝福された唯一の希望です。先週もこの話をしましたね。先週の説教を再度するつもりはないですが、少なくとも話したことにふさわしいかもしれませんね。敵は盗み、殺し、滅ぼすためにやって来ます。私たちの希望を盗み、喜びを殺し、主が私の希望です。主は私の唯一の希望です。主は皆さんの唯一の希望でもありますよ。私たちがここから脱出する唯一の方法は、

イエスが私たちをここから連れ出されることです。それが私たちの唯一の希望です。

「いや、まだなんとか状況を覆えせると思いますよ！！」という人。分かりました。どうぞどうぞ。じゃあね、あなたみたいになりたくないわ。この数週間、どうしたらもっと滑らかに締めくくれるかを考えています。なので、カポノ、上がってきて助けてください。皆さんご起立ください。やっぱり継ぎ目なしです。ね。－(笑)－

裁きが来ます。あなたの耳は、違うこと、耳に心地良い事を聞きたがるのは、分かっています。でもこれが真理です。裁きが来ます。嬉しくないですか？ ついに義によって裁かれるのです。神に最終決定権があられます。私たちは、この滅びゆく世から連れ出されます。この欲望と滅びゆく世は、日を追うごとに邪悪さを増しています。それが希望を与えます。その方が良かったです？ そろそろ縮めてもよろしいです？ わかりました。－拍手－

天のお父様、ありがとうございます。ふう～ 私の兄弟姉妹をありがとうございます。お～、彼らはとても恵み深く、忍耐強く、親切で、愛に溢れています。ああ主よ、ありがとうございます。厳しい内容であっても、間違いなく、良いことです。私たちはこのことを思い出す必要があります。特に、誰かにバカにされ、こう嘲笑される側になったとき、「君はまだ信じてるの？頼むわ～。」と。いいえ。ここ（聖書）にあります。主よ、「第二ペテロの手紙」をあなたに感謝します。この章を感謝します。これらの節を感謝します。私たちは、これが正にもうすぐ、もうまもなく起こるのだと思い起こす必要があります。主よ、ありがとうございます。厳しいことですが、良いことです。イエス様、マラナタ。早く来てください。どうか、イエス様、早く来てください。主よ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7